

みやこのじょう し けい かく
都城市こども計画

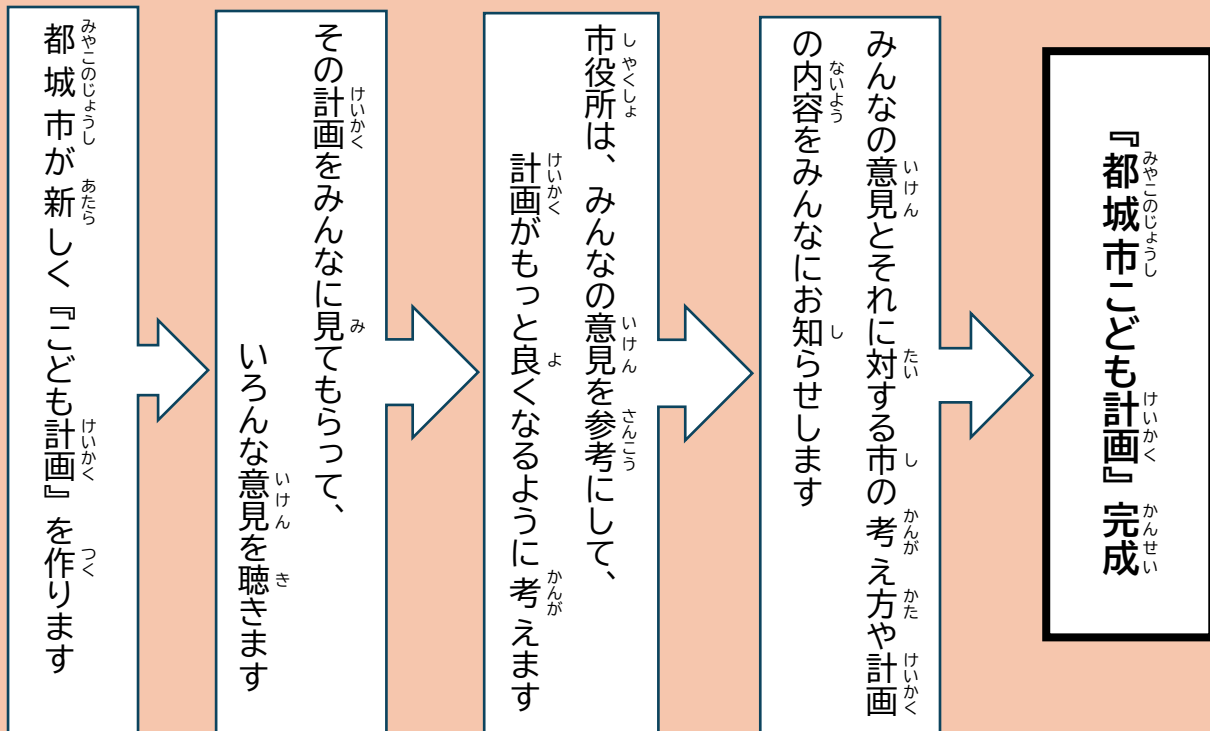
こどもパブリックコメント

けっかこうひょう
～結果公表～



1. こどもパブリックコメントについて

パブリックコメントってなに？



どうやって意見を聴いたの？

いつ？	令和6年12月2日（月曜日）～令和7年1月6日（月曜日）
だれに？	市内の小学校3年生～中学校3年生まで
なにをした？	市の作った「こども計画」の『こども向け説明資料』をみんなに見てもらって、意見を募集しました。
どうやって？	<ul style="list-style-type: none"> 市内の小中学校の児童生徒にチラシを配布しました。 市役所や図書館、児童館などで紙に意見を書いて提出してもらいました。 インターネットで意見を入力して提出してもらいました。



こどもたちが主役の計画だから、
おとただけでなく、
こどもたちにも意見を聴いたよ！

いけん あつ
どのくらい意見は集まったの？

かいとうしゃすう いけんすう
回答者数・意見数

かいとうしゃすう いけん けいかく 回答者数（意見なし・計画はこのままでよい）	797人（678人）
いけんすう 意見数	208件

かいとうしゃうちわけ にん
回答者内訳（797人）

しょうがっこう 小学校		ちゅうがっこう 中学校	
ねんせい 1年生	2人	ねんせい 1年生	199人
ねんせい 2年生	3人	ねんせい 2年生	137人
ねんせい 3年生	74人	ねんせい 3年生	250人
ねんせい 4年生	55人	がくねんふめい 学年不明	4人
ねんせい 5年生	25人	その他	
ねんせい 6年生	41人	ふめい 不明	4人
がくねんふめい 学年不明	3人	ごうけい 合計	797人



あつ いけんすう
集まった意見数

ない よう 内容	いけんすう 意見数
やっっていくこと1 こども・若者の健やかな成長 (こども向け説明資料P4) (こども計画P65～P68)	38件
やっっていくこと2 困難な環境にあるこども・若者への支援 (こども向け説明資料P5) (こども計画P69～P76)	31件
やっっていくこと3 地域におけるこども・若者、子育て家庭への支援 (こども向け説明資料P5) (こども計画P77～P79)	18件
やっっていくこと4 こどもの誕生前から幼児期の支援 (こども向け説明資料P6) (こども計画P80～P84)	30件
やっっていくこと5 学童期・思春期の支援 (こども向け説明資料P6) (こども計画P85～P88)	58件
やっっていくこと6 青年期の支援 (こども向け説明資料P7) (こども計画P92～96)	13件
やっっていくこと7 子育て期の支援 (こども向け説明資料P7) (こども計画P92～P96)	12件
その他（文章の表現方法など）	8件
合計	208件

2. 主な意見・市の考え方

みなさんから208件の意見を提出してもらいました。提出された意見のうち、似ている意見などについては要約しています。

今回は、いただいた意見の中でも特に多かったものや、市が大切だと感じた意見をいくつか選んで紹介し、それに対して市ではどのように考えているのかをまとめました。

やっていくこと！

～子ども・若者の健やかな成長～



● 意見の内容 ●

○運動して遊べる施設、勉強できる場所など、子どもの遊び場・居場所を増やしてほしい。

● 市の考え方 ●

子ども・若者のみなさんが幸せを感じながら健やかに成長できるように、遊びや勉強、体験・交流などができる遊び場や居場所づくりを進めていく予定です。

そして、みなさんが安全で楽しく、充実した時間が過ごせるようにしていきます。

● 意見の内容 ●

○家族以外に相談できる人は思い浮かばないし、なかなか相談に踏み切れない人もいると思う。

○プライバシーが守られて、安心して相談できる場所があると良いと思う。自分の意見や考えを伝えるアンケートを行ったり、相談ボックスを設置したりすると意見が出やすく、相談もしやすいと思う。

● 市の考え方 ●

みなさんが困ったり、迷ったりしたときに、一人で抱え込むことがないように、気軽に安心して相談ができる窓口を広くお知らせしていきます。県や市をはじめ、いろいろな機関が、それぞれの得意分野を生かしてみなさんの悩みや困りごとを解決できるように協力していきます。

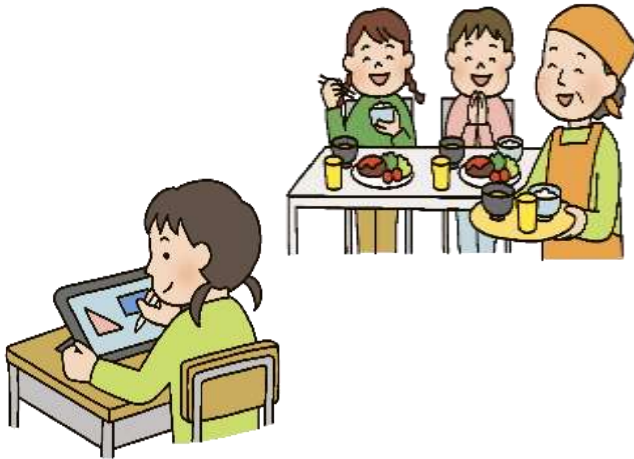
また、今後もアンケートなどでみなさんの意見や困りごとなどを聞いて解決できる方法を考えていきます。

やっけていくこと2

～困難な環境にある子ども・若者への支援～

● 意見の内容 ●

- 参加費無料の勉強会を開いたり、その時にあわせてカウンセリング（相談）を受けられるようにしたら良いと思う。



● 意見の内容 ●

- （不登校の人に対し）リモートやインターネットを使ったオンラインの授業をする。
- いじめがあったと聞くとときがあるからもっといじめの対策をしたほうが良いと思う。
- ニュースでも宮崎県は不登校の人数が増えているとよく聞く。学校に行けない人がたくさんいる。

● 市の考え方 ●

市内15地区27か所で、地域の人が集まってボランティアで児童生徒のみなさんに勉強や生活習慣を身につけるお手伝いをしています。そのほとんどが参加費無料です。そこでは、カウンセリングは行っていませんが、市では、みなさんが困ったり、迷ったりしたときに、安心して相談ができる窓口を広くお知らせしていきます。

● 市の考え方 ●

不登校やいじめについては、早く気づいて、その人の気持ちに寄り添って対応していく必要があります。そこで、学校には、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーといった相談の専門家がいて、学校のことだけでなく、学校以外のことも何でも相談することができます。また、学校に行けない人のためには、オンライン授業が受けられるように準備したり、学校以外の学びの場を増やしたりしていきたいと考えています。

今後も、本人が一人で悩みを抱え込まないように、安心して相談できる人や場所、学びの場を増やす方法を考えていきます。

やっていくこと3

ちいき わかもの こそだ かてい しえん
～地域における子ども・若者、子育て家庭への支援～

● 意見の内容 ●

○街灯をもっと増やした方がいい。部活などで遅くなると暗くて危険な時があります。



● 意見の内容 ●

○子どもが安全に通学できるように道路や歩道をしっかりと整備してほしい。



● 市の考え方 ●

街灯は、夜間の犯罪や事故などの危険を防止するために重要です。中でも、防犯灯と言われる街灯は、それぞれの地域住民の皆さんの意見を聞いて市のお金も使いながら設置・管理しています。

地域住民の皆さんの防犯意識の高まりが、地域の力で設置される防犯灯に反映されています。

● 市の考え方 ●

子どもたちが安全に通学できるように、毎年、学校の先生、地域の方、警察、市役所が協力して、定期的に通学路の点検を行い、危ない場所の手直しを行っています。

これからも、子どもたちが安全に通学できるように、道路や歩道の整備を進めます。



やっていくこと4

～こどもの誕生前から幼児期の支援～

● 意見の内容 ●

○子育てをする世帯に今よりも
もっと手厚いサポートをした
方がいい。



● 意見の内容 ●

○赤ちゃんやお母さんが休める
場所があるといい。



● 市の考え方 ●

妊娠、出産、その後の育児については、
切れ目のない支援を実施しています。
今後も求められるものを支援につなげ、
誰もが安心して子育てできるような
環境づくりをしていきます。

● 市の考え方 ●

出産後は、心身の変化に慣れない
育児も重なり、お母さんの心と体は
不安定な時期です。出産後のお母さんの
体の回復と心の安定を図るために、
病院や助産院などに日帰りまたは
宿泊したり、助産師が自宅に訪問して、
お母さんの体のケアや赤ちゃんのお
世話の指導をするサービスがあります。

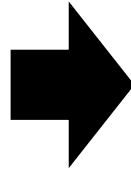


やっていくこと5

がくどうき ししゅんき しえん
～学童期・思春期の支援～

● 意見の内容 ●

がくしゅうかんきょう せいび がっこうない
○学習環境の整備や学校内の
せつび じゅうじつ
設備を充実させてほしい。



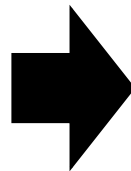
● 市の考え方 ●

子どもたちが健やかに成長できるように、引き続き、学習環境、学校施設の整備や設備の充実に努めていきます。



● 意見の内容 ●

いけん ないよう
○スポーツができる公園を増やすことや遊具をもっと充実させてほしい。

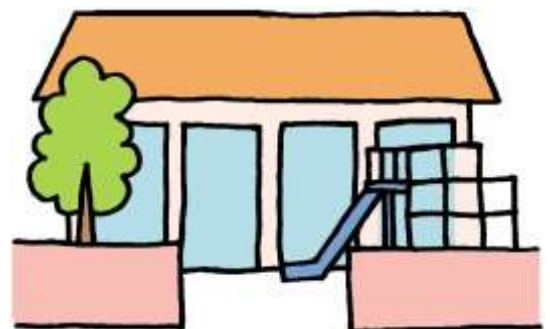


● 市の考え方 ●

市内には、たくさんの公園がありますが、その中の都城運動公園と山之口運動公園は、スポーツ施設を新しく整備していて、これから、たくさんの人に運動やスポーツを楽しんでもらえると考えています。

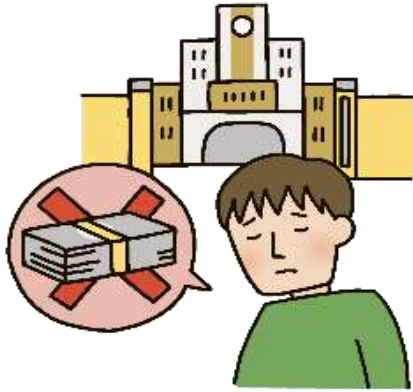
また公園は、子どもからお年寄りまで、だれでも自由に体を動かしたり、休憩したりする場所です。

みんなが公園で運動をしたり、遊んだりして充実した時間を過ごせるように、遊具などの公園施設の管理や整備を行っていきます。



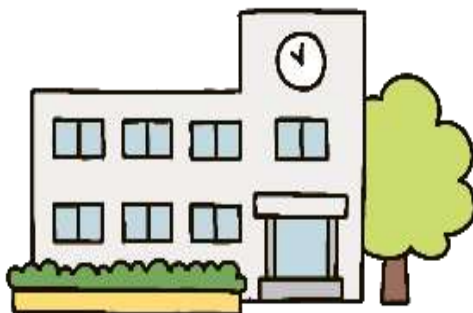
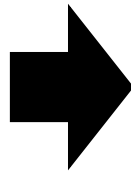
やっていくこと6

せいねんき しえん ～青年期の支援～



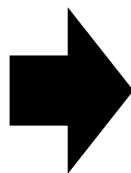
● 意見の内容 ●

○高校や大学などに行くための費用を支援してほしい。
大学費用を貯金できるように、それまでの給食費や医療費を無料にしてほしい。



● 意見の内容 ●

○高校や大学に進学するにあたって、在生や市外に進学した人の話が聞けるといい。



● 市の考え方 ●

国や県では、高校や大学などに行くための費用を支援する制度をたくさん準備しています。市では、そういった制度を利用したい人が利用できるように情報を発信したり、手続きのお手伝いをしています。

また、子どもがいる家庭にお金を支給する制度(児童手当)のルールが変わり、高校生や大学生のいる家庭への支給額が増えています。

すべての児童生徒のみなさんの給食費を無料にすることは考えていませんが、家のお金の事情などで給食費の支払いが難しい場合に給食費を支給する制度があります。

さらに、子どもがいる家庭に対して、病院にかかった時の医療費を中学生世代まで無料にしたり、保育園などに行く費用を無料にするなど、子どもを育てやすい環境をつくっています。

● 市の考え方 ●

高校への進学を決める際に、各中学校で高校説明会が行われ、在校生が説明に来ることもあります。中学生が現役高校生の話を直接聞ける機会を増やすなど、進路選択に役立つ情報提供を充実させていきます。

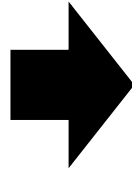


やっていくこと⑦

こそだ き しえん ～子育て期の支援～

● 意見の内容 ●

○母子家庭や父子家庭の人たちも暮らしやすいように、病院代などの費用の支援をした方がいい。



● 市の考え方 ●

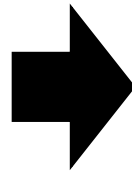
ひとり親家庭が安心して子育てできるように、仕事の紹介や生活や病院にかかるお金の支給をしています。

また、しばらくの間、病気などで生活できなくなった時に、家事や子育てのお手伝いをする支援もあります。



● 意見の内容 ●

○こどもが病気でお仕事を休んだ時に、その日の分の給料を払ってあげたり、病気のこどもが行けるところを作ってほしい。



● 市の考え方 ●

赤ちゃんを育てる時期やこどもが病気の時などに仕事を休めるよう、働きながら子育てしやすい環境を作るために啓発をしていきます。

また、こどもが病気でも仕事をどうしても休めないときに、こどもを預けられる施設がありますので、必要なときに使うことができるよう施設を用意したり、多くの人に知ってもらうよう取り組めます。

● まとめ ●

今回、紹介した意見のほかにも、たくさんの意見が提出されました。意見を提出してくれたみなさん、ありがとうございました。提出された全ての意見については、市ホームページをご覧ください。

今後も、都城市は『こどもまんなか社会』の実現に取り組んでいきます。

市ホームページはこちらから



<問い合わせ先> 都城市こども部こども政策課
こども政策担当

TEL : 0986-23-268